

桜島(鹿児島県)における土石流の発生状況(平成18年6月4日噴火以降)

桜島は平成18年6月4日に昭和火口が噴火して以降、梅雨前線による豪雨にともない土石流が頻発

- ・土石流:合計11回(6/15~7/5)
- ・いずれの土石流も流路内を安全に海まで流下し地域住民、家屋、道路等への被害なし

平成18年7月10日17:00現在
国土交通省砂防部保全課

持木川6月28日



野尻川6月28日



今回の降灰エリア

昭和火口

黒神川

7/5:1回、
6/27:1回

野尻川

7/5:2回、6/28:1回、
6/27:1回

7/5:1回、6/27:1回、
6/15:1回

新しい立入禁止区域:.....
(6/14 鹿児島市拡大)
*但し、区域ライン多少誤差含む

持木川

7/5:1回、6/28:1回

有村川

- ・地整、事務所は注意体制(事務所連絡員常駐)
- ・ワイヤーセンサで常時監視(県、市消防へ自動通知)

野尻川河口に堆積した土砂(平成18年6月4日噴火以降)

H18.4撮影



今回の一連の土石流により、約3万7,000 m³の土砂が流路内に堆積しています。

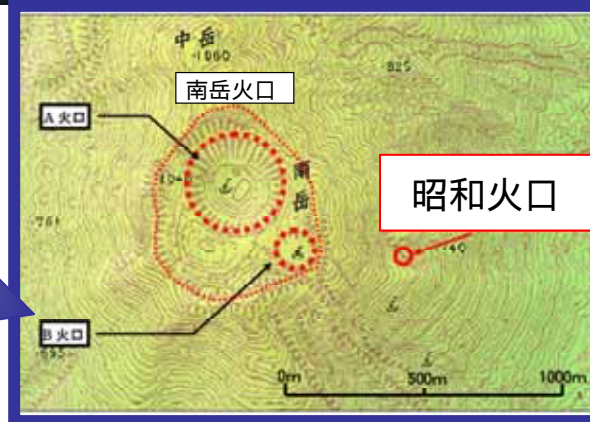
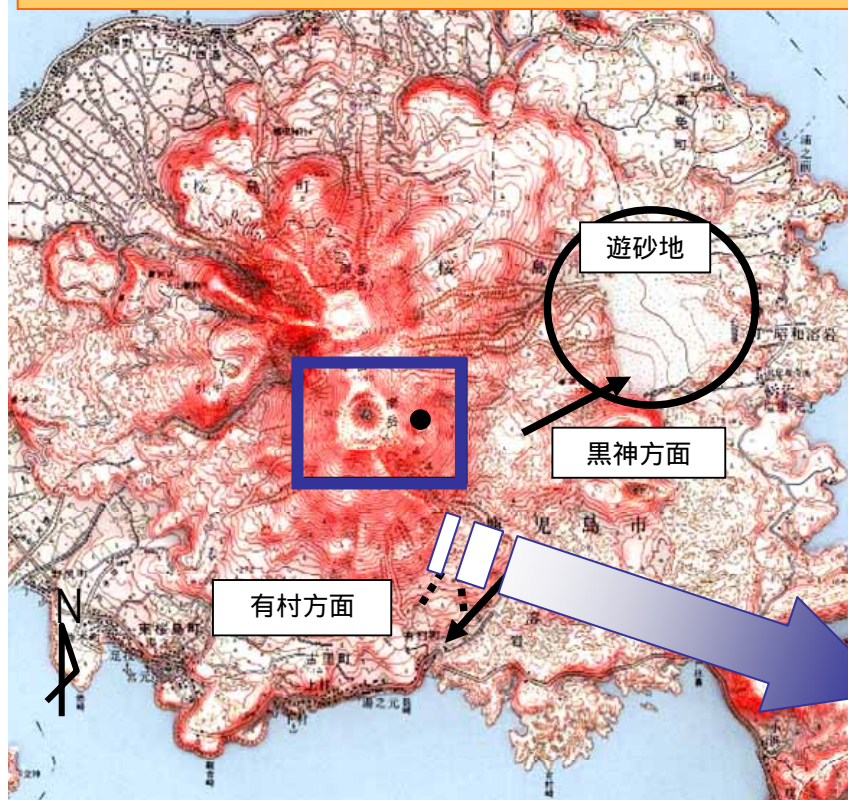
早急に除石し(7月11日(火)～25日(火)の予定)、次の土石流に備えます。



H18.7.6撮影

平成18年6月4日以降の桜島昭和火口の噴火状況

- ・H18年6月4日に桜島の**昭和火口付近**で小規模**噴火発生**。それ以降も断続的に噴火が続いている。昭和火口での噴火は58年ぶり。
- ・6月12日の火山噴火予知連絡会を受け気象庁は**火山活動度レベル**を**2**→**3**へ引き上げ。火砕流のような現象も観測される。
- ・6月14日、立ち入り禁止区域が拡大される。
(南岳周囲2km + **昭和火口周囲2km**)



桜島の火山活動度レベル表

- 5: 極めて大規模な噴火が発生
または可能性
- 4: 中～大規模噴火が発生
または可能性
- 3: 活発な火山活動
- 2: 比較的静穏な噴火活動
- 1: 静穏な火山活動
- 0: 長期間火山の活動の兆候なし